

2018年11月19日
株式会社クラレ**<クラリーノ>がミカサのバレーボール公式試合球「V200W」に採用**

～ 国際バレーボール連盟公式試合球の表皮素材として、10年以上の継続採用が決定 ～

株式会社クラレ(本社:東京都千代田区、社長:伊藤正明)が製造・販売する人工皮革<クラリーノ>が、株式会社ミカサ(以下、ミカサ)のバレーボール「V200W」の表皮素材として、採用されることが決定しました。V200Wは、2018年11月16日にメキシコのカンクンで開かれた第36回国際バレーボール連盟(FIVB)世界総会で発表された最新モデルのバレーボールで、FIVBの公式試合球です。2008年の北京オリンピックから使われ始めたMVA200の後継モデルとして、2019年のFIVB Volleyball World Cupでデビューする予定です。

1. 採用の経緯

- 当社とミカサとの協業の歴史は長く、両社の取り組みのはじまりは1967年まで遡ります。以来、両社は、バレーボール用表皮素材を共同で開発してきました。
- 2008年には、両社で共同開発を行った<クラリーノ>が、FIVBの公式試合球「MVA200」に採用されました。
- MVA200用に開発された<クラリーノ>は、バレーボール用表皮素材として高い評価をいただき、今回の最新モデルであるV200Wにおいても、引き続き、採用されることが決定しました。

2. 「V200W」に採用される<クラリーノ>の特長

- スポンジ状の風合いを持つマイクロファイバー不織布層に、発泡層を持つポリウレタン表皮を重ねた「2重クッション構造」で、ソフト感と柔らかさを実現。
- ボール表面にディンプルシボ(凹加工)を施し、更にフラット面にも微細なシボを付与した「マルチパターン構造」により、ボールの飛行安定に貢献。
- ボール表面のナノ・バルーンシリカコーティング加工により、汗濡れ等により生じる競技中のボールの滑りを抑制し、ボールのコントロール性を大幅に向上。



<クラリーノ>が採用された
FIVB公式試合球「V200W」
(写真提供:株式会社ミカサ)

本資料に関するお問い合わせ先

(株)クラレ IR・広報部 齊藤 TEL 03-6701-1073

(ご参考)

株式会社ミカサ 会社概要

商号	株式会社ミカサ
所在地	広島県広島市安佐北区安佐町久地 1 番地
代表者	代表取締役社長 佐伯 祐二
創業	大正 6 年 5 月
資本金	1 億 2,000 万円(2018 年 11 月現在)
ウェブサイト	http://mikasasports.co.jp/jpn/

以上